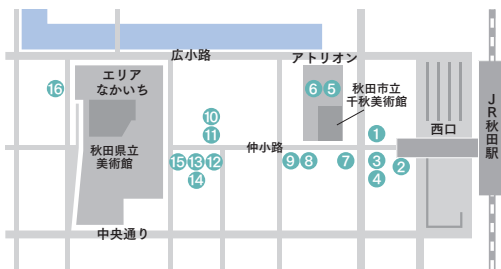


仲小路商店街

お得な半券サービス

秋田県立美術館と千秋美術館をつなぐ仲小路商店街。秋田県立美術館で展覧会を鑑賞し、半券(秋田県立美術館のパスポートも可)を対象店舗で提示すると、各種サービスを受けられます。「アートな街」をお得にお楽しみください。



店舗名	サービス内容
1 一乃穂 本店	ご購入のお客様にご試食品進呈
2 プリモカワカミ (フォンテAKITA1階)	フォンテポイント2倍
3 コーアロマティカ Koo Aromática サロンアンドスクール Salon & School (クロッセ秋田4階)	全コース5%割引
4 カフェラドゥ café La Doux (クロッセ秋田2階)	食後のワンドリンクサービス
5 秋田県産品プラザ	5%割引(一部対象外)

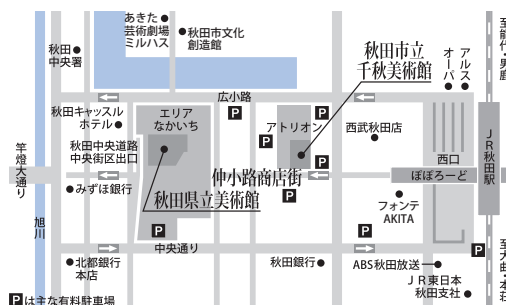
店舗名	サービス内容
6 札幌かに本家 秋田店	飲食代金5%割引(現金払いのお客様)
7 ブランジーノ Akita Branzi-no Akita	お食事の方にデザートサービス
8 そば処 四季	飲食代5%割引
9 レモンの部屋	5%割引(一部対象外)
10 ティールーム陶	100円引き(平日ランチは除く)
11 食器のさかいだ	5%割引(一部商品除く)
12 仲小路コーヒー&ワイン (仲小路ビル1階)	1,000円以上の飲食で5%割引
13 親鶏らあ麺 いし川 (仲小路ビル1階)	ラーメンのみ5%割引
14 ヴィヴァントメイクアップ VIVANT MAKE UP WORKS (仲小路ビル2階)	メイクレッスン受講の方にスクリーンブラシプレゼント
15 川口呉服	5%割引(サービス品除く)
16 ダイニングレストラン ザ・キャッスル (秋田キャッスルホテル1階)	ご利用金額の10%割引 またはワンドリンクサービス

秋田市立千秋美術館

大規模改修工事のため、休館中。
2024年6月29日(土)リニューアルオープン
〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8(アトリオン内)
TEL.018-836-7860 FAX.018-836-7862

秋田県立美術館

開館時間 ●午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)
観覧料 ●展覧会ごとに異なる
休館日 ●4月15日(月)~19日(金)、
7月1日(月)~5日(金)
〒010-0001 秋田市中通一丁目4-2(エリアなかいち内)
TEL.018-853-8686 FAX.018-836-0877



編集 ●秋田市artlineプロジェクト実行委員会
秋田市立千秋美術館
秋田県立美術館指定管理者(公財)平野政吉美術財団
仲小路振興会

発行 ●2024年3月
表紙:秋田市立千秋美術館エントランス
千秋美術館内の画像はすべて photo by ©Nacasa & Partners

News from the Museums of Art

artline



特集

千秋美術館リニューアルオープン

2024.3

秋田魁新報創刊150年記念特別展

日本の洋画130年 珠玉の名品たち

[会期]

2024年4月20日(土) — 6月30日(日) 会期中無休

[会場] 秋田県立美術館3Fギャラリー

[開館時間] 10:00~18:00(入館は17:30まで)

[観覧料] 一般1,000円(800円)、高・大学生800円(600円)、中学生以下無料

[主催] 日本の洋画130年展実行委員会(秋田魁新報社、秋田県、公益財団法人平野政吉美術財団)

明治時代、ヨーロッパで西洋絵画の基礎を学んだ画家たちは、日本に本格的な洋画をもたらしました。東京美術学校で後進を育成するなど、日本の近代洋画に大きな影響を与えます。大正時代に入ると、自由主義な時代の気風のもと、多様で個性的な表現を模索する画家たちが登場しました。このようなかで、フランスで前衛的な美術表現に触れ帰国した画家たちが日本で新たな美術表現を生み出し、大正から昭和にかけて絵画は豊かな展開をみせました。

このたびの展覧会では、日本洋画の父ともいわれる高橋由一、五姓田義松をはじめ、日本近代洋画の礎を築いた黒田清輝、藤島武二、浅井忠、青木繁、そして戦後の具象彫刻をリードした舟越保武など、明治から現代にいたる画家・彫刻家の作品を紹介します。日本近代美術史に名を遺す巨匠たちの作品を展覧し、日本洋画の歩みを辿ります。



藤島武二《日の出》
油彩・カンヴァス



青木繁《二人の少女》
油彩・カンヴァス



佐伯祐三《パリの街角》
油彩・カンヴァス



鴨居玲《勲章》
油彩・カンヴァス



高橋由一《鮭図》
油彩・板

※作品はすべて笠間日動美術館蔵

関連イベント

●講演会

「日本の洋画130年 エネルギーを秘めた作品たち」

[日時] 4月21日(日)14:00~15:00

[講師] 長谷川徳七氏

(笠間日動美術館館長、株式会社日動画廊代表取締役社長)

[会場] 1Fレクチャールーム

[定員] 30名

※事前申し込みが必要です。

●にぎやか鑑賞タイム

[日時] 5月3日(金)10:00~14:00

子どもも大人も赤ちゃんもおしゃべりOK!

作品について楽しくお話ししながら鑑賞ください。

※通常開館日のお客様同士の会話を制限するものではありません。

●学芸員によるギャラリートーク

[日時] 5月4日(土)、5月19日(日)、6月15日(土)

各日ともに14:00~14:30

[会場] 3Fギャラリー

※いずれも参加には観覧券または年間パスポートが必要です。

最新の情報はホームページ等でご確認ください。

パスポートで
アートを満喫!

県立美術館年間パスポート

県立美術館では、パスポートを発行しています。一年を通じて、展覧会を楽しむなら、ぜひパスポートをご利用ください。



県立美術館(県民ギャラリーを除く)で開催される展覧会を発行日から1年間、何回でも観覧可能。

料金：一般 2,500円

大学生 1,700円

販売場所：県立美術館

有効期限：発行日より1年間

※県民ギャラリーで開催される展覧会等の観覧は主催者により異なります。

秋田県立美術館 令和6年度展覧会ラインナップ

特別展

深堀隆介展

水面のゆらぎの中へ

8月4日(日)~9月29日(日)

ロートレックとベル・エポック

の巴里-1900年

10月5日(土)~12月15日(日)

企画展

平野政吉コレクション・ 絵画のなかの「街」

7月6日(土)~9月29日(日)

藤田嗣治 言葉をつむぐ

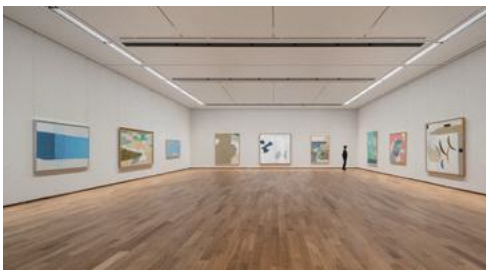
12月21日(土)~2025年4月13日(日)

2024年6月29日 千秋美術館リニューアルオープン

大規模改修工事による約2年間の休館期間を終え、いよいよ6月29日(土)にリニューアルオープンを迎える千秋美術館の魅力をartlineでいち早く紹介します。

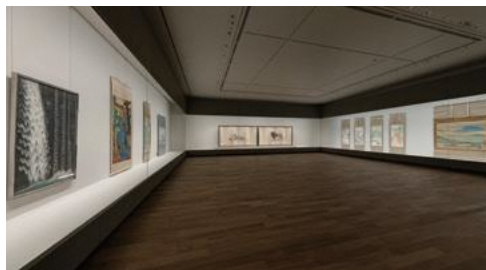
より美しい展示へ 展示室の機能充実

2階展示室は、展示に制限の多かった2室を統合し、4室から3室へ。新設した壁面展示ケースや可動壁面パネルのレイアウト変更により、幅広い作品に対応した展示ができるフレキシビリティの高い空間になりました。照明は、すべて蛍光灯から演色性の高いLEDへと変わりました。気密性の高い展示ケースの導入や空調機の更新と合わせて、美術品を適切に保護しながら、より美しく、クリアに鑑賞できる環境を整備しました。



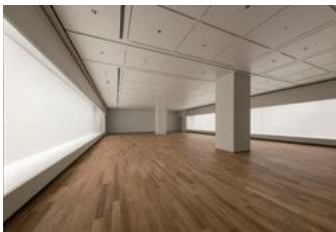
■展示室1(岡田謙三記念館)

天井がフラットになり、広々とした印象に。更新した天井照明で作品をより均一に照らすことができるようになりました。



■展示室2

2室を統合した展示室。新設した展示ケースは、高透過の低反射ガラスと計算された照明で、作品を鮮明にご覧いただけます。



■展示室3

縦横方向に壁面パネルを動かすことができ、展示作品に応じた展示空間を作ることができます。



■2階廊下・受付カウンター

廊下のつきあたりには、新設された秋田蘭画の展示コーナーがあります。



■空調機



■エントランス

広く、明るい印象で、中の様子もよく分かるように。階段横には2階から流政之の彫刻《どさ、さきもり》を移設しました。



■ミュージアムショップ

以前、受付だった場所にショップを新設しました。図録やポストカード、トートバッグなどのオリジナルグッズを販売予定。

開かれた空間へ 1階ロビーの再構築

エントランスをアトリオン館内の1カ所に集約し、広く、入りやすい雰囲気へと変わりました。1階ロビーには、ミュージアムショップが誕生し、千秋美術館のオリジナルグッズなどを販売予定です。拡充された仲小路側の休憩スペースには、タブレット端末で所蔵品の画像閲覧などができる情報コーナーも新設。《佐竹曙山 写生帖》全3冊、伝萩津勝孝筆《秋田街道絵巻》全3巻を高精細画像でご覧いただけます。



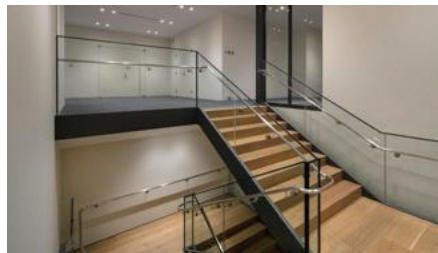
■休憩スペースと情報コーナー

情報コーナーでは、所蔵品情報や各地の美術情報などをゆっくりと閲覧してください。

より使いやすい施設へ 利便性の向上

2階から3階への階段を新設し、3階の講堂へアクセスしやすくなりました。講堂の内装や設備は、ワークショップや講演会等、教育普及事業での使いやすさも考慮して更新しています。

1階には、救護・授乳室を新設。体調のすぐれない方や小さなお子様連れの方などにも安心して美術館を利用していただけるようになりました。



■2階から3階をつなぐ階段



■講堂



■救護・授乳室

企画展

イッタラ展
フィンランドガラス
のきらめき

6月29日(土)～8月25日(日)

1881年に設立されたフィンランドを代表するガラスデザインブランド・イッタラの魅力を歴史や技術、デザイナーなどに焦点をあてながら、約450点により紹介します。



Photo: Anton Sucksdorff

生誕120周年
サルバドール・ダリ展
—天才の秘密—

9月14日(土)～11月10日(日)

20世紀を代表する多才な芸術家・サルバドール・ダリ(1904-89)の芸術世界を諸橋近代美術館のコレクションを中心とした約90点より紹介します。



美術の扉 千秋美術館コレクション

1期 秋田蘭画・岡田謙三 2期 洋画・写真 3期 日本画
11月23日(土)～12月24日(日) 1月10日(金)～2月9日(日) 2月15日(土)～3月16日(日)



小田野直武《鷹図》江戸時代(寄託品)



木村伊兵衛《子供たち・秋田市仁井田》1952年



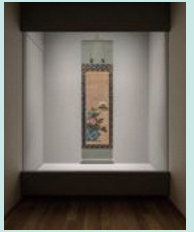
廣島晃甫《紅蓮図》1921年

大規模改修工事により生まれ変わった展示室で、千秋美術館がこれまで収集してきた所蔵品のうち代表的な作品約200点を3期に分けて紹介します。

常設展

秋田蘭画展示

リニューアルオープンを機に秋田蘭画の展示コーナーを新設しました。毎月展示替えを行い、秋田蘭画の名品を紹介しします。



岡田謙三
記念館

1期

6月29日(土)～11月10日(日)

2期

1月10日(金)～



岡田謙三
《朱》1962年

学芸員リレーコラム

仲小路でアートを探そう(第19回)

暖冬による深刻な雪不足となった今年の冬。秋田県内の雪にまつわる伝統行事やイベントなどに大きな影響を及ぼしています。

冬の時期、例年であれば雪が降り積もり、時に吹雪に見舞われるなど、秋田は厳しい寒さを迎えます。そんな雪国・秋田に心惹かれた画家のひとり、藤田嗣治でした。藤田が制作した《秋田の行事》の画面左側に展開するのは、冬の日常風景の場面です。角巻きを羽織る女性や箱轎(はこぞり)を押す子ども、荷物を運ぶ馬轎など、日々の暮らしの営みが描かれています。冬の場面はそのほとんどが秋田市の商人町・外町が舞台となっていますが、稚児鬘(こゑむら)の少女たちが遊ぶ雪室は角館の情景です。

「吾が国の伝統の美しさ、郷土の質朴さ、清く澄み透すこの人々の心は、戸外の一丈にも余る雪の肌の様に純であり貴いのである。」角館を訪れた際の感興を随筆にこう記した藤田。まだ寒さの残るこの時期、雪国・秋田への藤田の想いに心寄せつつ、《秋田の行事》を鑑賞してみたいかがでしょうか。(秋田県立美術館・佐々木)



artlineワークショップ「絵手紙で出す春の便り」

3月2日(土)、秋田県立美術館1Fレクチャールームを会場にartlineワークショップを開催しました。講師は県立美術館館長の澁谷重弘。タイトルにもある春の季節にちなみ、ふきのとうやたららの芽、菜の花や水仙などをモチーフに絵手紙を描きました。今回は割り箸に付けた墨で輪郭線を引き、そこに水彩絵具で薄く色を重ねていく手法に挑戦。館長からのアドバイスをもとにモチーフと向き合い、参加者の個性が表れる絵手紙を完成させました。色鮮やかな野菜や花々が机に広がり、一足早く春の気配が漂うワークショップとなりました。

